PT・OT ビジュアルテキスト

地域リハビリテーション学 第3版

contents

● 序 —— 重森健太，横井賀津志 3

● 執筆者一覧 —— 14

第1章 総論

1 地域リハビリテーションの概念 —— 井口 茂 16

1 地域リハビリテーションの歴史と概念 …… 16

1）地域リハビリテーションの歴史 2）地域リハビリテーションの考え方 3）地域リハビリテーションの定義と活動指針

2 地域リハビリテーションの範囲 …… 21

1）地域の捉え方 2）ケアの範囲と地域リハビリテーション 3）医療・保健・介護からみた地域リハビリテーションの範囲

3 地域のなかでのリハビリテーションの位置づけ …… 22

1）保健医療圏における地域リハビリテーション 2）地域包括ケアと地域リハビリテーション 3）地域リハビリテーションにおける「障害」の捉え方

4 ノーマライゼーション …… 26

1）ノーマライゼーションの歴史と定義 2）ノーマライゼーションの基本原則 3）日本におけるノーマライゼーション

5 ソーシャルインクルージョン …… 27

1）ソーシャルインクルージョンの理念と背景 2）ソーシャルインクルージョンとノーマライゼーションおよび地域リハビリテーション

6 専門職連携 …… 28

1）専門職連携の定義と必要性 2）地域リハにおける専門職連携 3）地域リハにおけるリハビリテーション専門職の役割

7 世界の動向 …… 28

1）CBRの歴史と考え方の変遷 2）CBRの定義と構成要素 3）CBRの実践方法 4）CBRの実践とわが国の地域リハビリテーションの相違

2 地域理学療法の概念 —— 大杉紘徳 32

1 地域理学療法とは …… 32

1）地域リハビリテーションと地域理学療法　2）地域理学療法における「地域」とは　3）理学療法士の就職先の変遷　4）診療報酬・介護報酬の改定　5）医療と介護の連携推進

2 地域における理学療法士の役割 37

1）連携　2）各現場の視点からみた地域における理学療法士の役割

3 地域における理学療法士の現状と今後の展望 45

1）「地域理学療法」に対する誤解　2）現状の「地域」をみた理学療法のあるべき姿　3）今後の展望

3 地域作業療法の概念 ―― 籔脇健司 47

1 地域作業療法とは 47

1）地域作業療法の捉え方　2）地域作業療法とヘルスプロモーションの関係

2 地域における作業療法の役割 49

1）作業的権利の尊重　2）作業ニーズの把握

3 地域における作業療法の現状と今後の展開 51

1）地域作業療法の現状と課題　2）これからの地域作業療法

第2章 地域リハビリテーションの関連制度と関連法規 高森聖人

1 医療保険制度 55

1）医療保険制度の概要　2）医療保険制度のしくみ

2 介護保険制度 58

1）介護保険制度の概要　2）介護保険制度のしくみ　3）介護サービスの種類

3 障害福祉制度 64

1）わが国の障害福祉制度の変遷　2）障害者総合支援法の概要　3）自立支援給付　4）地域生活支援事業　5）障害児に対する福祉サービス　6）自立支援協議会

4 バリアフリー新法 70

1）「高齢者，障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」の制定　2）バリアフリーコンフリクト

5 地域における社会資源 72

1）特別支援教育　2）生活困窮者自立支援制度

6 地域包括ケアシステム 74

1）地域包括ケアシステムとは何か　2）地域包括ケアシステムの構成要素　3）4つの「助（自助・互助・共助・公助）」　4）地域ケア会議　5）地域共生社会の実現に向けて

第3章 住環境と福祉用具 小林貴代

1 住環境評価 80

1）優しく安全な環境づくり（バリアフリー）　2）生活環境の課題とリスク　3）ヒヤリハット事例

2 住環境整備 81

1）在宅における介護保険制度の利用　2）介護保険法における住宅改修　3）介護保険法におけ

る福祉用具の貸与・購入　4）在宅における住宅改修事例

3 住環境整備の手法 84
1）略式平面図　2）手すり・扉などの種類を知る　3）入浴関連設備を知る　4）排泄関連設備を知る　5）段差解消関連設備を知る　6）コミュニケーションと環境制御関連設備を知る　7）QOL（趣味活動など）関連設備を知る

4 福祉用具と住環境 90
1）車いす利用者の手の届く範囲　2）車いすのサイズ　3）車いすに必要な住環境のポイント　4）杖・歩行器のサイズと住環境への配慮　5）福祉用具の貸与（レンタル）との組合わせ

5 ユニバーサルデザインと住環境 94
1）ユニバーサル商品　2）自助具

実習課題：自宅を評価する 96

第4章 地域におけるリスクマネジメント 山野　薫

1 地域におけるリスクマネジメント 97
1）リスクマネジメントの概要　2）医療や福祉における「質保証」とリスクマネジメントの関係　3）リハビリテーションにおけるリスクマネジメントの概要　4）地域リハビリテーションにおけるリスクマネジメントの考え方

2 リスクマネジメントに必要な知識と技術 101
1）対象者（身体状況）に関するリスクマネジメント　2）環境のリスクマネジメント

3 リスクマネジメントからみたバリアフリーとユニバーサルデザイン 110

4 地域リハビリテーションにおける感染予防と感染対策 112

実習課題：地域マップづくり 114

第5章 地域リハビリテーションプロセス 井口知也

1 地域リハビリテーションプロセスの全体像 116
1）地域リハビリテーションの目的と特徴　2）地域リハビリテーションプロセスの構造

2 横断的介入プロセスに基づく地域リハビリテーションプロセスの実践 118
1）横断的介入プロセスにおける評価　2）横断的介入プロセスにおける目標設定　3）横断的介入プロセスに基づく地域リハビリテーション計画の立案と実施　4）再評価と計画の見直し　5）生活行為向上マネジメント（MTDLP）

3 縦断的介入プロセスに基づく地域リハビリテーションの実践 124
1）縦断的介入プロセスに基づく地域リハビリテーションの考え方　2）縦断的介入プロセスにおける評価（地域の現状把握と課題分析）　3）縦断的介入プロセスにおける目標設定　4）当事者を含む職種間・地域間の連携のもとで行う継続的な計画と実施　5）専門職主導から住民主体への発展

4 地域リハビリテーションプロセスにおける療法士の役割 127

第6章 地域リハビリテーションの実際

Ⅰ 地域理学療法の実際

1 訪問系理学療法 ―― 石井秀明，加茂智彦 130

1 地域リハビリテーションのなかでの訪問系理学療法の位置づけ …… 130

2 訪問系の理学療法士に求められる役割 …… 132

1）訪問系理学療法で対象となる傷病およびリハビリテーション計画　2）ゴール設定や思考過程　3）専門職連携

3 訪問系理学療法での評価・治療 …… 135

1）訪問系理学療法での評価　2）訪問系理学療法での治療介入

4 訪問系理学療法の実際 …… 137

脳卒中片麻痺の訪問理学療法

実習課題：片麻痺の生活体験 …… 140

2 通所系理学療法 ―― 大田尾　浩 142

1 通所系理学療法の概要と地域リハビリテーションのなかでの位置づけ …… 142

1）通所系理学療法の目的　2）通所リハビリテーション（デイケア）と通所介護（デイサービス）　3）利用者像　4）通所系理学療法の利点や課題

2 通所系の理学療法士に求められる役割 …… 146

1）通所系理学療法の対象　2）ゴール設定とその考え方　3）関連職種との連携

3 通所系の理学療法での評価と治療 …… 148

1）通所系の評価のポイント　2）通所系理学療法での治療介入　3）通所系理学療法の実際

実習課題：生活改善の視点 …… 151

3 施設系理学療法 ―― 合田明生 152

1 地域リハビリテーションのなかでの施設系理学療法の位置づけ …… 152

2 施設系の理学療法士に求められる役割 …… 154

1）リハビリテーション計画（ケアプランへの関与）　2）ゴール設定や思考過程　3）専門職連携

3 施設系理学療法での評価・治療 …… 158

1）施設系理学療法での評価　2）施設系理学療法での治療介入　3）施設系理学療法の実際

実習課題：転倒予防策の検討 …… 165

4 終末期における理学療法 ―― 岡本加奈子 166

1 「終末期」は「人生の最終段階」 …… 166

2 終末期における疾患 …… 167

3 終末期と終の棲家（看取りの場） …… 168

4 全身状態の管理を目的とした理学療法プログラムとリスク管理 …… 169

5 終末期における理学療法の実際 …… 169

1）特養での終末期に状態の悪化と寛解をくり返した症例　2）在宅で対象者を看取った事例

■ 実習課題：長時間の同一姿勢による不快感の体験 …… 175

Ⅱ 地域作業療法の実際

1 訪問系作業療法 ―― 福田久徳 176

1 目標設定の重要性 …… 176

2 作業遂行の評価と分析 …… 177

1）課題分析　2）遂行分析

3 目標を達成するための介入モデルの選択 …… 178

4 訪問系作業療法の実際 …… 179

1）脳血管疾患の事例　2）内部疾患の事例　3）整形疾患の事例　4）難病疾患の事例

■ 実習課題：生活環境の評価 …… 184

2 就労支援としての作業療法 ―― 宮崎宏興 185

1 就労支援の現状と動向 …… 185

2 障害者の雇用と就労の制度 …… 186

1）すべての障害者が利用できる雇用と就労の支援制度　2）精神および発達障害者・難治性疾患者や，在宅勤務者ごとに利用できる施策　3）その他，障害者に限定されない，一般求職者への支援制度　4）障害者総合支援法に基づく就労支援にかかる障害福祉サービス事業

3 障害者の雇用と就労を実践するために …… 193

1）個別就労支援プログラム（IPS）　2）仕事仲間との協業（チームビルディング）　3）仕事との相性（ジョブマッチング）　4）職務開発と仕事の切り出し（ジョブカービング・ジョブクリエーションなど）　5）雇用企業の開拓　6）雇用における労働条件や雇用継続（雇用管理支援）

4 就労支援現場の実際 …… 195

1）職務経験がなく不安が強かった事例　2）事例のその後　3）まとめ

5 おわりに …… 197

■ 実習課題：就労支援体験 …… 198

3 学校および保育所等訪問支援における作業療法 ―― 岩永竜一郎 199

1 はじめに …… 199

2 学校や保育園・幼稚園支援の事業 …… 199

1）障害児等療育支援事業　2）保育所等訪問支援事業　3）巡回支援専門員による支援　4）学校への巡回相談　5）外部専門家活用事業

3 学校や幼稚園などの支援の実際 …… 201

1）巡回相談によるかかわり　2）外部専門家活用事業による特別支援学校へのかかわり　3）幼稚園・認定子ども園へのペアレント・プログラムを用いたかかわり

4 学校・保育園・幼稚園支援で必要なリハビリテーション技術 …… 203

1）障害の特性を短時間に把握するスキル　2）発達障害およびその他の精神疾患に関する知識　3）多様な評価技術

5 特別支援技術 …… 204

1）参考となる支援方法　2）教育以外の対応方法（薬物治療，療育機関での対応）に関する知

識　3）面談技術　4）地域の社会資源に関する知識と地域のネットワーク

6 学校・保育園・幼稚園支援にかかわる専門家に求められること …… 205
1）ジェネラリストモデル　2）教師・保育士との連携

7 おわりに …… 206

実習課題：巡回相談の模擬体験 …… 207

4 終末期における作業療法 ―― 島﨑寛将 208

1 終末期とリハビリテーション …… 208
1）終末期という病期が示す病態　2）病態の進行を予測する　3）終末期に求められる専門性とチーム医療　4）終末期に求められるリハビリテーション　5）終末期リハビリテーションにおける作業療法士の役割

2 地域リハビリテーションにおける終末期の作業療法 …… 212
1）リハビリテーション・ゴールとは　2）地域で活かされる作業療法士の専門性　3）求められるサービスの連続性　4）家族とのかかわり

3 おわりに …… 216

第7章 予防分野のリハビリテーション

1 フレイル・サルコペニアと介護予防 ―― 山田　実 218

1 フレイル・サルコペニアの概要 …… 218
1）フレイルとサルコペニア　2）フレイル　3）サルコペニア

2 フレイル・サルコペニアの病理・症候 …… 220
1）骨格筋の加齢変化の要因　2）骨格筋の加齢変化のマクロな特徴　3）骨格筋の加齢変化のミクロな特徴

3 フレイル・サルコペニアの疫学 …… 221
1）フレイルの有病率　2）サルコペニアの有病率

4 フレイル・サルコペニアの予後 …… 222
1）フレイルの予後　2）サルコペニアの予後

5 フレイル・サルコペニアの診断・評価 …… 222
1）フレイルの判定基準　2）サルコペニアの判定基準（AWGS2025）

6 フレイル・サルコペニアの対策 …… 223
1）フレイル理学療法ガイドライン（日本理学療法士協会）　2）サルコペニア診療ガイドライン（日本サルコペニア・フレイル学会）

7 介護予防の概要 …… 225
1）介護予防の目的・意義　2）介護予防の歴史的変遷

8 介護予防領域における目標の捉え方 …… 225

9 介護予防領域における効果判定の考え方 …… 227

10 介護予防の効果 …… 228
1）短期集中型の運動介入の機能向上効果　2）短期集中型のハイリスク介入の効果　3）通いの場の効果

11 関連する文献（AWGSの変遷） 230

12 フレイル・サルコペニアへの臨床現場での対応 230

2 認知症予防 ——牧迫飛雄馬 232

1 世界の動向（文献レビュー） 232

1）健常者に対する運動介入の効果　2）MCIに対する運動介入の効果　3）認知症に対する運動介入の効果

2 わが国における認知症予防の実際 237

1）認知症予防のターゲット　2）認知症発症のリスクが高い高齢者のスクリーニング　3）認知症予防のための多面的な運動プログラムの概要　4）MCI高齢者に対する多面的なプログラムの効果

3 認知症予防教室運営のコツと実践例 241

1）プログラムの構造化　2）各プログラム構成要素における実践留意点および実践のコツ　3）予防教室の運営における留意点

3 転倒予防 ——松林義人 250

1 世界の動向（文献レビュー） 250

2 わが国における転倒予防の実際 252

1）転倒予防の必要性　2）運動機能の評価　3）ADLの評価　4）活動性の評価　5）精神心理・認知面の評価　6）転倒予防の介入を実施するにあたっての注意事項　7）転倒予防のための介入　8）介入の効果　9）介入効果を継続させるための工夫

3 転倒予防教室運営のコツと実践例 259

1）対象者募集の工夫　2）介入方法の実際　3）介入方法の工夫

4 作業を用いた健康への貢献 ——川又寛徳 263

1 世界の動向 263

1）作業を用いて健康に貢献するとは？　2）作業的に健康であるということ　3）文献レビュー

2 地域における作業療法の実際 264

3 作業を用いた健康教室運営のコツと実践例 266

1）作業を用いた健康教室運営のコツ　2）作業を用いた健康教室運営の実践例

5 作業を通じた社会づくり ——高木雅之 272

1 はじめに 272

1）健康を促進する社会環境　2）作業と社会と健康の関係

2 世界における作業を通じた社会づくり 274

1）作業療法と社会づくり　2）編み物とおしゃべり会　3）国際都市地区ガーデン・ハノーファー　4）ストリートサッカー・スコットランド

3 日本における作業を通じた社会づくり 278

1）園芸プロジェクト　2）パソコン教室　3）札幌メンズ・シェッド ポッケコタン　4）たつのソーシャルインクルージョンプロジェクト（T-SIP）

4 作業を通じた社会づくりのコツ 281

1）ともに何かをする　2）多様な人々が集う開かれた場をつくる　3）長期的，継続的に発展させる

5 作業を通じた社会づくりにむけて …… 283

第8章 行政における療法士の役割 逢坂伸子

1 行政療法士の役割機能 …… 284
2 行政療法士が従事している分野 …… 286
1）子どもに関する分野　2）障害者に関する分野　3）高齢者に関する分野　4）その他
3 地域包括ケアにおける行政療法士の役割 …… 288
地域包括ケアの５つの視点による取り組み
4 地域包括ケアの取り組み事例 …… 289
1）ケアマネジャーに対するリハビリテーション教育　2）理学療法士，作業療法士，言語聴覚士の同職種連携　3）介護予防活動：住民主体の介護予防となる通いの場
5 行政療法士が備えるべき知識と技術 …… 295
1）コーディネイト力とマネジメント力　2）地域評価からＰをはじめる

第9章 地域の防災と災害支援 小野部　純

1 災害時のチーム医療（リハビリテーション専門職の役割） …… 300
1）災害時の医療活動　2）災害と防災の定義　3）災害発生時の医療　4）リハビリテーション支援活動の目的と意義　5）自然災害におけるリハビリテーション支援の変化　6）災害支援チームのあり方　7）情報集約と可視化の重要性
2 リハビリテーション専門職ができる災害支援 …… 306
1）リハビリテーション職の専門性について　2）評価と情報の管理・共有　3）各災害フェーズでのリハビリテーション専門職の役割
3 防災訓練でリハビリテーション専門職が備えるべき知識と技術 …… 316
1）一般的な防災知識と技術　2）リハビリテーション専門職として備えるべき防災知識と技術

第10章 産業リハビリテーション

1 産業保健と健康経営 ——佐藤友則 320
1 産業保健 …… 320
1）産業保健とは　2）労働災害と事業場の不健康　3）労働衛生の３管理　4）事業場における安全衛生管理体制　5）産業保健スタッフ　6）産業保健にかかわる外部機関
2 近年の労働環境と健康課題 …… 324
3 健康経営とは …… 325

2 産業保健理学療法 ——佐藤友則 327
1 産業保健理学療法とは …… 327
1）産業保健分野での理学療法士の活動の変遷　2）産業保健理学療法の定義　3）産業保健分野での理学療法士の役割　4）臨床における理学療法と産業保健理学療法の違い

2 産業保健理学療法の実際 …… 330

1）主な対象とその対策・かかわり　2）事業場への産業保健理学療法の支援　3）産業保健分野で活動するにあたり身に付けたいスキル　4）産業保健分野での理学療法士の働き方

3 事例紹介 …… 335

1）水道管製造業における職場チェックの事例（腰痛予防の観点から）　2）社会福祉施設における産業保健理学療法の事例（転倒災害防止の観点から）　3）産業保健理学療法の職能・職域を広げるために

3 産業保健作業療法 ——藤井寛幸 339

1 産業保健作業療法の理論と実践 …… 339

1）従来の産業保健領域の活動と産業保健作業療法の違い　2）産業保健作業療法

2 主な対象（中小企業）と支援領域 …… 341

1）産業の現場で作業療法士に求められる役割　2）経営者，従業員それぞれの作業の価値と動機付け　3）健康行動を促す行動変容理論　4）支援領域

3 事例紹介 …… 346

1）初期段階：課題の可視化と顧客関与の促進（無関心期から関心期へ）　2）中期段階：行動の実践とコミュニティマネジメント（準備期から実行期へ）　3）後期段階：自走化の定着と持続可能性（維持期へ）

4 多職種連携による産業作業療法の役割 …… 348

1）作業療法士：人と組織の活力を引き出す包括的アプローチ　2）作業活動・生活行為，コミュニティに着目する作業療法士の視点　3）これからの産業保健分野で働く作業療法士に期待されること

コラム 認知症ケアパスと認知症初期集中支援チーム ——松下　太 351

● 索引 —— 353